

公益社団法人

日本動物学会

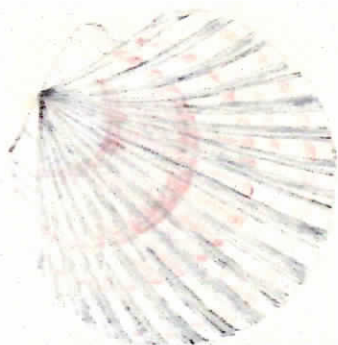


第94回山形大会

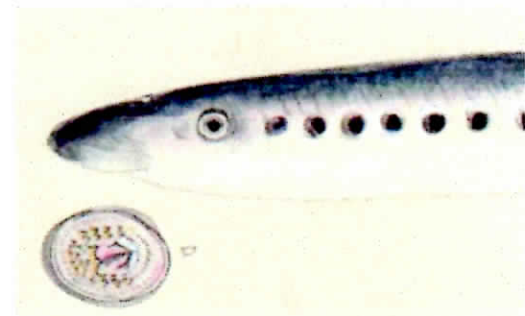


The 94th Annual Meeting of the Zoological Society of Japan

プログラム集 Program Book



2023年9/7(木) ~ 9/9(土)
山形大学小白川キャンパス



図版は両羽博物図譜(酒田市立光丘文庫所蔵)より

後援:山形大学

目 次

大会日程表	1
大会会場へのアクセス	2
会場案内図	3
参加される方へ	5
講演要旨をお読みにするために	
～デジタル Web プログラムへのアクセス方法～	8
発表者・シンポジウムなどのオーガナイザーと講演者、各受賞者へのご案内	9
動物学会本部からのお知らせ	11
大会プログラム	
授賞式・総会・理事会・各種委員会	13
受賞者：2023 年度各賞受賞者	14
本部企画シンポジウム・シンポジウム・関連集会 日程表	18
本部企画シンポジウム（ナリシゲシンポジウム） 概要	20
シンポジウム 概要	23
関連集会 概要	34
一般口演発表 日程表	37
一般口演発表 プログラム	38
特別企画	
一般公開シンポジウム	60
動物学ひろば	60
高校生ポスター発表	61
第 94 回大会協賛団体ご芳名	62
日本動物学会第 94 回大会実行委員会	63

59 アフリカツメガエルの光応答性に関する研究

○岩渕 紗希, 稲邊 妃那

東北学院中学校・高等学校 科学部; 生物班

責任者: 小島 紀幸

本研究は、さまざまな波長光がアフリカツメガエルの成長やストレス応答に対して、どのような影響を及ぼしているかを明らかにすることが目的である。白、青、緑、黄、赤の5種類の波長光による光照射実験を、20日間にわたってアフリカツメガエルの成体を対象に繰り返してきた結果、緑色光と青色光に対しては、他の波長光よりも個体重量の増加につながることを確認した。また、幼生（オタマジャクシ）も、短時間（10分間）の光照射に対して、明らかな正の走性を示す結果が得られた。以上の結果から、光の波長は、アフリカツメガエルの成長や行動に対して何らかの影響を及ぼしていると考えられる。今後も実験を重ねるとともに、個体重量の増加や光応答性がストレスフリーによる応答なのかストレスフルによる応答なのかを調査していくことにしている。

60 二枚貝と底生生物によるマイクロプラスチックの回収

浅田 凌佑, 砂野 有香, 韓 静坤, 古川 絵里, ○眞鍋 洋平

兵庫県立神戸高等学校 総合理学科

責任者: 繁戸 克彦

近年、問題となっている海洋中を浮遊しているマイクロプラスチックの回収方法として、二枚貝の濾過摂食に注目した。濾過摂食は機構上、体内に取り込んだものをエラで分離した後、不要なものを粘液で固めて「偽糞」として排出する。我々は、この機能を用いれば、海洋中のマイクロプラスチックを偽糞に集められるだけでなく、二枚貝自体の摂食（必要なものとして体内に取り込む）に関係しないため、生物濃縮の影響も少ないのではないかと考えた。また、濾過摂食の機構上、偽糞は消化されていない餌の塊であるため、その偽糞を摂食する生物が存在するのではないかと考え調べた。結果、マイクロプラスチックを偽糞にまとめることに成功し、さらにその偽糞を摂食する生物の存在を確認することができた。